京城日報
昭和十八年九月十五日（水曜日）
皇紀二千六百三年
第一萬二千八百九十五號
（昭和十八年九月十五日 第三種郵便物認可）

帝國、東亞各地に對伊萬全の措置

武裝解除、艦船抑留

非戰鬪員を保護 占領地權益は接收

大本營發表（九月十四日十五時三十分）一、帝國陸海軍は九月九日伊太利バドリオ政府の單獨降伏に伴ひ直ちに東亞各地に存在せる伊國陸海軍の武裝解除及び艦船の抑留を實施せり
二、占領地内における伊國權益は帝國陸海軍において之を接收し其の他の地域に在りては各盟邦の接收に協力せり
尚占領地内の非戰鬪員に對しては監視保護を加へつゝあり

極めて平穩に完了 中心は陸戰隊五百餘

……た）以下約五百五十名の陸戰隊の武裝解除を行つたが各地のイタリ……心である、これが内譯次の如し
上海サンマルコ大隊 二八四名

飽まで戰爭繼續 駐滿伊外交機關聲明

【新京十四日同盟】駐滿イタリヤ公使ルイジ・ネローネ氏は旅順で病氣療養中であつたが十二日歸京十三日午前十一時外交部に李外交部大臣を訪問して、日獨伊三國協定に違反しバドリオ政府が行つた無條件降伏を拒否し駐滿外交機關全員は日獨とゝもに戰爭を繼續すべくファシスト新國民政府を支持することを決意した旨の聲明文を手交した後、約四十分間にわたり如何なる困難をも克服して戰爭繼續に邁進すべき決意を披瀝して辭去した、また哈爾濱駐在同國領事マツセ氏も同時刻駐哈大石外交部特派員を訪問して同趣旨のステートメントを手交した

定例閣議

【東京電話】十四日の定例閣議は午前十時より首相官邸に開會し東條首相以下全閣僚出席、安藤内相より鳥取地方の震災視察状況を報告、右について關係各閣僚より所管事項別に損害と復興の状態につき報告を行ひ、ついで青木大東亞相ならびに重光外相より最近の大東亞情勢ならびに國際情勢につき報告を行ひ午後零時四十五分散會した

徒らなる批判脱却 增産へ再思三考を

定例局長會議席上 小磯總督發言

十四日の定例局長會議に臨席の小磯總督は液體燃料增産に關聯して資材蒐集上及び製油技術になほ研究の餘地あること、戰爭下益々利用度の昂まりつゝある電話使用上の一般人の心構へべきこと、生産增強上の隘路除去に關し次の如く發言した

液體燃料たる松炭油の增産については本總督の意思表示に基いて增産に邁進してゐることは喜ばしいことであるが、松炭油製造についても最近隘路又は苦情が出てその責任を痛感してゐる、即ち資材たる……ために原料である松枝の價格が安くなることも工夫を要することで……となく、不平、批判をする前に如何にしたら品質が向上するかに思……

松枝蒐集については各團體が各個人に資材點習てをなすのは已むを得ないとであるが國民學校四、五年生までに割當てゝ身體的にみて重荷であると思ふが適切な方途はないものかと責任を感ずる次第である、又松炭油製造過程に於ける技術的研究が不充分で採油量が僅少になり從つて低率なものは價格高となり、價格が抑へられてゐるために原料である松枝の價格が安くなることも工夫を要することで

ある、需要者側からは始めをはかりのものに對して種々冷淡な批評が出てゐるやうであるが、餘ほかでも南方依存を脱却するために種々の不自由を忍んでやつてゐるとき、燃料にあつても軍用には絶對に不自由させぬ建前をとつてゐる限り民需が窮屈になるのは明白々の事實であるから、徒らなる批判に生産者が腰を折られることなく、不平、批判をする前に如何にしたら品質が向上するかに思考を廻らすやう希望する、松炭油增産には皆の者が喜んで協力するやう努力し原材料蒐集につけても關係者に無理をさせぬやう仕向けるべきである

次に生産力增强の必要上電話の需要が增加し緊要度の高いものは必要ある方面へ役立てるやう一般の協力を望む、更に電話使用に際しても通話を簡潔にして使用効率を最高度に引上げるやう特に一般國民の注意を喚起する

最後に生産力增强上の隘路を除去することの緊要であることを述べたい

先づ企業者側の隘路除去について言ふならば、企業者が……の運に過してゐることで……種々消耗品のストックを……一つの部分品が無くなつて……ちに全機械の操作が停止……とが間々あるやうである……れに對しては平常より……すべきである

第二には作業が流動作……つてゐないことである……流動作業を實施してゐる……あつても流動に間隙と……して時間を空費すること……宜しく創意工夫を以て……力發揮に努力すべきで……

第三は未だに勞務の按配管理が不充分のために作業能率が向上せぬとであるが勞務管理には一段の注意を要する

第四は生産の機能と原材料の輸送力の不調和といふことであるが輸送力の窮屈な現在にあつても内地よりの原材料を待つて機械を遊ばせるより假令品質が劣つても輸送力の不調和を打開するために地元にある原材料利用を以て効率を上げるやうにしたい

最後に望むことは自らの企業のみ意を用ひず他の同業者とも密接な聯繫を保つて設備の流用、部……

けふ滿洲國承認記念日

事あらば威力發揮

永遠を律す『日滿議定書』

……へと發展した、十餘年の親交は今や死生存亡斷じて分撒せざる骨肉の關係を確立した、今次大東亞戰爭勃發に當り宣戰の大詔渙發せらるゝや、滿洲國皇帝陛下には即日時局に關する詔書を渙發、國力を擧げて親邦の戰を助くべき旨を諭させ給ひ、さらに昨年九月十五日建國十周年式典に當つては特に勅語を賜り親邦の天業を翼賛すべき旨重ねて諭旨あらせられた、征戰の前途は

重大性を帶び國際情勢また緊迫を告ぐる今、滿洲國は米英擊滅戰の大攻防基地として北邊に嚴乎たる鐵壁の陣を布き、また豐富なる物資をもつてする對日寄與は頗る大なるものがある

力强さを覺えしめた、世界的動亂の渦中にあつて滿洲國のみは全く戰禍の彼方にあり四千三百萬國民が孜々としてその生業に勵みつゝあるは特に日滿共同防衞の威力の致すところにほかならないが、これ

た、本年四月初め東條首相の滿洲國訪問はこの兩國關係を一層增進し、相互の理解を深めたものであり、また青木大東亞相が先般同國を訪問、朝野と懇談を遂げ兩國提携の具體化をさらに促進した、昨年

昨年から再發足した第二次五ケ年計畫が極めて順調なる進展をつゞけ食糧に鐵鋼その他の重工業關係に何れも計畫以上の好成績を擧げつゝあるとの報告は日本國民に非常な

とゝもにその國力を擧げて日本に協力しつゝある滿洲國官民の努力は日本國民の深く多とするところである、兩國の親近の情は苛烈なる試煉のなかに愈々緊密の度を加へて來

の九月十五日には新京において建國十周年記念式典行事が繰展げられ大東亞各國は勿論福軸各國民の心からの祝福を受けたのであるが、十五日には滿洲國各地に於て承認記

念日の儀式が行はれ、また東京においては日滿中央會主催の滿洲國承認記念午餐會が帝國ホテルで開催されるほか、決戰下に相應しく嚴粛嚴肅な記念行事が行はれる

今大東亞において決戰のさなかにも拘らず新たな大東亞建設が着々進められ、中國の主權回復、泰國の領土に關する宿望達成、ジヤワ原住民の參政權供與などが實現された、しかもビルマ國は去る八月一日戰塵の中からたくましい獨立の聲を擧げ比島またその獨立を間近に控へて準備に邁進してゐる、大東亞戰爭下に二つの國家が創造されるのである、眞におほらかにも遥しい日本肇國の大理想顯現で

あるが、これらが大東亞戰爭の眞只中に米英の鐵鎖と侵略を擊碎しながら進展せられてゐることを思ふ時、十一年前の滿洲國建國直後において斷乎として米英の東亞支配挑戰を宣言した滿洲國承認の意義の如何に大なるものであるかが痛感される

米英政略を東亞より驅逐するため滿洲國は日本と相攜へてすでに十一ケ年の鬪爭をつづけて來たが今や米英擊滅すはなはち大東亞解放であり同時に十億國民の慶祝と進展を約束された大東亞新秩序の建設となつた、かくて大東亞建設の先驅となつた日滿の紐帶を愈々强化しつゝさらに十億の民の結束を固めながら、さらに米英擊滅へ邁進を期さう

の議定書の精神は事ある毎にその威力を發揮し共同防衞の互の信頼をもつて結ばれ培はれて來たもので盟邦から親邦……

在上海權益 接收全部終了

又通信も閉鎖

寫眞＝（上）自沈横轉したコンテベルデ號より收容される乘組員（下）武裝解除を終へわが〇〇司令官に人員報告するイタリヤサン……

……を開始した、六百十一名に達する在留イタリヤ人を保護監視し、又イタリヤ側の一般權益についても帝國側は公正嚴格な措置をとり伊側放送局及びステフアニ通信社等は同朝八時我が方の手によつていづれも閉鎖接收された、右接收は極めて圓滑に行はれ市中も頗る平穩であつた

抑留伊艦船十四隻

【東京電話】バドリオ政權の反逆により今回わが方に抑留されたイタリヤ艦艇ならびに船舶は左の如くである

抑留艦艇 特務艦カリテーヤ以下七隻▲抑留船舶 コンテベルデ以下七隻（計約四萬六千トン）なほコンテベルデおよび砲艦レパントは自沈したが、目下引揚中であつてコンテベルデ號は昨年八月下旬南阿ロレンゾ・マルケスに赴いた第一回日米交換船で一萬八千トンの豪華を誇る客船である

必要手段完了

在留伊人關係

【東京電話】バドリオ政權の米英に對する無條件降伏に對しわが政府はこれを實質上の敵對行爲と見做し九日午後帝國政府聲明を發表したが、在留伊國人財産などについても右基本方針に即應必要なる措置を次の如く急速に完了した

一、日本にあるイタリヤ人はこれを抑留監視することに決定し、イタリヤ公館員、一般イタリヤ人と外界との交通を遮斷するなど必要なる措置を講じた

一、イタリヤ公館およびイタリヤ人の通信および取引を停止した

一、各商館をして海軍その他と協力してイタリヤ船舶および貨物につき適宜の措置をとつた

一、金融關係においてもイタリヤ人關係の外貨債權債務手續を中止し、また金融統制會、日銀等を通じて金融取引の停止など適當なる手配を完了せしめた

日高大使ベニスへ

在伊邦人は一同無事

【東京電話】バドリオ政權降伏後一時混亂に陷つたイタリヤの情勢も北部ならびに中部イタリヤは獨軍による占領後の治安確保措置により漸次平靜を取戻してゐるが、動亂のイタリヤにある邦人の安否に關し逐一外務省に在ウイーン山口總領事より報告あり日高大使をはじめ大使館員、在留邦人一同無事であることが判明した、主なる在留邦人の動靜は左の通り

一、日高大使以下大使館員はその他のローマ駐留邦人一同とともに九日夜自動車でローマを出發したが、十二日ベニスに到着、目下ベニスに待機中である

一、海軍武官光延東洋大佐以下はミラノに向ひ出發した

一、イタリヤにおける情勢緊迫に伴ひウイーンに避難のためすでにミラノに待機中であつた五十嵐内務職、渡邊三菱社員その他在伊邦人二十三名は十日同地發伊國官憲の好意により一車輛を貸切りベニスに到着、同地に一泊のうへドイツ當局の配慮により無事ウイーンに到着、直ちにウイーン帝國總領事館の斡旋で宿舍に入つた

在上海伊人措置終る

【上海十四日同盟】上海方面陸海軍ではバドリオ政權の降伏に伴ひ現地居住のイタリヤ人の取扱について協議中であつたが、十五日附布告をもつてイタリヤ人の武器彈藥、寫眞機、望遠鏡の所持を禁止する旨發令した

サレルノ 反樞軸軍撤退

【ベルリン十四日同盟至急報】ドイツ軍當局十四日正午發表 サレルノ方面の反樞軸軍は十三日午後以來サレルノ灣及びリコルソ岬の多數の地點において輸送船、上陸用舟艇に乘船し完全な混亂状態に陷つて南西方面に撤退中である

【ベルリン十四日同盟】D・N・B通信社は反樞軸軍のサレルノ灣撤退状況に關し次の通り報道してゐる

パレヌロからの報道に依ればサレルノ灣を撤退した英軍を滿載した輸送船が十四日拂曉以來斷續的にポリカストロ港に到着してゐるといはれる、これらの輸送船は最初シチリヤ島方面に向つて進路をとつてゐたが、獨逸爆擊機の攻擊を受け突如行先を變更獨逸空軍の攻擊を避け海岸沿ひに南下してポリカストロに逃げ込んだと思はれる

機隊は直ちに邀擊態勢をとり廣東西方三水上空において敵編隊を捕捉、猛烈なる攻擊を加へた結果、これを北方に遁走せしめ遂に敵一機の侵入をも許さなかつた、この戰鬪において遁走敵機のうち一機は濛々たる黑煙を吐いて雲間に突入した、戰果を確認しなかつたがその他の敵機にも多數の有効彈を與へてゐる

侵入を許さず

廣東來襲米機忽ち遁走

【廣東十四日同盟】在支米空軍の執拗な出擊はその都度わが荒鷲の反擊に痛擊を喫して敵勢力の激減に拍車をかけてゐるが、十四日十二時廿分頃米空軍爆擊機B25四機はまたもや曇天の雲間を利し廣東上空に侵入せんとしたがわが戰鬪……

米國に燃料危機來

【ブエノスアイレス十三日同盟】ワシントン來電＝アメリカ燃料監督長官イツキーズは十三日再びアメリカの燃料危機を强調した

定例局長會議

總督府定例局長會議は十四日午前十時から午後零時四十分まで第三會議室で開催、各局長より次の如く報告した

水田財務局長 黃海道に於ける松炭油增産、鑛山の採鑛、勞務管理、輸送力の状況、農民が採算上から食品より非食作物を多く作ることを喜ぶ、麥桿奬勵と農民住宅の改善状態及び砂糖配給に貯蓄券引換へを實施して効果をあげてゐる

大野學務局長 總督府指導者鍊成所に於て本月下旬一週間男子中等學校長五十名に對し鍊成を行ひ、十月上旬は女子中等學校長五十名に就て實施する、慶南地方に於ける堆肥、松炭油增産状況

白石遞信局長 十月一日から京城中央電話局とセレベス島マカツサル間に直通電話が開通し料金は一通話三分間廿四圓である

伊藤專賣局長 白蔘の値段改訂及び配給統制の内容説明及び民間製鹽の新規計畫、全南の木材增産状況報告

岡井人事課長 半島人の官吏採用者四百名の豫定計畫について説明

山田鐵道局長 黃海線の輸送力增强の説明及び十月一日から鮮內ダイヤ改正の内容報告

消息

◇渡邊豐日子氏（林業開發社長）咸鏡北道方へ出張中の處十五日……

社說

滿洲國承認十一周年

一

昨年の今月今日、建國十周年の慶吉の式典を擧げて以來早くも一年、滿洲國は本日第十一回承認記念日を迎へる。大東亞戰爭の決戰段階は、昨年に倍して愈々慘苛烈を極めつゝあるとはいへ、帝國不動の戰略態勢は鞏固として敵の蠢動を許さず、その間、大東亞共榮圈の建設又着々として順調なる進捗を示し日滿一德一心、相共に扶け相共に攜へて日滿共同の米英擊滅の戰意益々旺なるとき、東亞北邊の道義的國家としての滿洲國の地位愈々固く、民族協和、王道樂土の實よくあがりて、隆盛たる國勢の下、金甌不壞の國內態勢を整へつゝあることはひとり滿洲國の慶びのみならず、親邦たる帝國の慶祝に堪へないところである。

二

滿洲國皇帝陛下には夙に滿洲建國の淵源惟神の大道に歸一する嚴たる大義に徹し給ひ、帝徳いよいよ高く日夜國務に御精勵御躬から親邦日本の天業翼贊に御垂訓あらせられる御近狀であると承る。即ち毎月一日には風雪寒暑に拘らせられず、親しく建國神廟に大東亞戰爭完遂と國運の隆昌とを御祈念あらせられ、また鐵鋼資材が戰爭に必須のことを思召されて新帝宮御造營工事並に宣詔所念塔建設工事の御中止を仰出され、帝宮内の鐵、銅類御下渡を御沙汰あらせられるなど常に聖戰完遂に御垂範あらせ給ふる御心のほど洵に感激に堪へぬところである。特に朝鮮として感激措く能はぬは今春安東地方巡狩の御砌り、水豐發電所を親しく御視察遊ばされ、戰力增强の源泉たる日滿共同の發電事業に特に御心を注がせ給うたことで、たゞに經濟の提攜を御推進遊ばされ給うたのみならず、戰爭完遂のための日滿不可分の關係を愈々厚く御感得遊ばさせ給ふところと深く拜察するのである。

三

かくして、曾つて張政權の暴政に喘いだ三千萬の滿洲國蒼生は今や鼓腹して暴政を補へる四千三百萬と化した。國內治安は全く回復して、民族協和し、民衆は安居樂業して、民生大いに榮えるに至つた。また建國十周年を期して再建された產業五ケ年計畫は專ら對日戰力寄與の目的に集中されて、第二年に入り襲ひ來る惡條件を克服しつゝ異常なる成績をあげつゝある。かくて政治に、經濟に、文化に、滿洲國は僅か創業十年餘にして驚異的の成績を動亂の全世界に誇示しつゝあるのであるが、われらのなほ最も感謝感激に堪へぬことは國防國家としての滿洲國の軍事的地位が嚴として確立してゐることである。即ち北邊の鐵壁は磐石の安泰に置かれてゐる。帝國が北居南面の態勢下にあつて、悠々南方經營の大業を遂行しつゝあるとの出來得るのはたゞに滿洲國が東亞北邊に嚴然として存在するが故である。

四

かゝる滿洲國の地位は大東亞戰爭の全世界戰爭の決戰的進展に伴ひ益々重大化しつゝある。その國防的、政治的、經濟的使命は愈々擴大增加すれども、決して萎縮減少するものではない。帝國が大東亞戰爭完遂のため、大東亞共榮圈建設達成のため滿洲國に期待する所また大なるべきはいふまでもない。大東亞戰爭の發端は滿洲事變にあり、その事變の結果創造されたる滿洲國はまた大東亞共榮圈內における後進民族をして各その所を得せしめて建設せんとする道義國家の實に先驅をなすものであることに思ひ致すならば、帝國の滿洲國に對する支援は更に絶大なるものがなければならぬと同時に、滿洲國また帝國の八紘一宇の道義的大精神に徹して、更に國力の飛躍的增强を圖り、あげて對日協力に邁進せねばならぬ。こゝに滿洲國承認十一周年記念日に當り、滿洲國皇帝の萬壽無疆を壽ぎ、國運の隆榮を祝福、祈念する所以である。

小兒、定期年齡制撤廢
簡保、年金關係勅令改正
十月實施

【東京電話】遞信省簡易保險局では、國民戰時生活の安定と貯蓄増強に資するため、今回簡易保險郵便年金の關係勅令を改正することになり、十四日の閣議に附議決定したので近日中に公布、來る十月一日より施行することゝなつた、しかして改正の要點は左の通りで小兒保險、定期年金の年齡制限を撤廢し、小兒保險の支拂保險金の最高制限額を二倍程度に引上げるとともに、定期年金の支拂開始年齡および支拂金を學制改革に對應せしめたのである

一、小兒保險の最低加入年齡の制限を撤廢したこと、現行規定では小兒保險の加入年齡は一歲以上となつてゐるが、今回この制限を撤廢し、子供は生れた日から保險に加入し得ることゝなり滿十歲までのものはすべて國民保險としての簡易保險に加入し得ることゝなつた

二、小兒保險の支拂保險金の最高制限額を現行の二倍程度に引上げたこと、小兒保險の死亡に對しては保險金の支拂に對し最高制限額の定めがあるが、現行の支拂制限額は現在の社會經濟情勢からみて少額に失するので左の如く現行の二倍程度に引上げることゝなつた

二歲未滿百四十圓、三歲未滿百七十五圓、四歲未滿二百十圓、五歲未滿二百八十圓、六歲未滿三百五十圓、七歲未滿四百二十圓、八歲未滿五百六十圓、九歲未滿四百九十圓、十歲未滿六百三十圓

三、定期年金の年金支拂開始年齡を十二歲、十六歲、十七歲および二十歲としたこと、定期年金は子女の育英資金の確保がその主なる目的で、現行規定の十五歲支拂開始は概ね中等學校修了期以後の學資金を、十七歲支拂開始の定期年金は概ね專門學校、高等學校又は大學豫科に入學後の學資金積立を目的とするものであるが、先般の學制改革に對應し右支拂開始年齡の十五歲はこれを十六歲とした

四、定期年金の支拂期間を四年、五年および十年としたこと、定期年金の年金支拂期間は現行規定では五年および十年の二種であるがさらに各種學校の修業年限に適應せしむるため右のほか新に四年の年金支拂期間を設け加入者の利便に資することゝした

五、定期年金の加入年齡の最低制限を撤廢したこと、現行規定では定期年金の加入は一歲以上となつてゐるのを今回この制限を撤廢し生れるとすぐ加入し得る途を開いて利用範圍の擴張をはかることゝした

六、なほその他年金繼續受取人たるべき遺族の範圍および順位につき若干の改正を加へた、胎兒の經濟上の地位を保護するためこれを遺族の中に入れ私生子の名稱を廢するなど遺族保護の實を擧げることゝした

石炭配給統制規則（下）

第十條　前條の許可を受けんとする者は左に掲ぐる事項を記載したる許可申請書を朝鮮總督に提出すべし

一、消費の時期及び場所

二、消費せんとする石炭の取得方法別、買受先別、種類別及び用途別數量

三、前年同期に於て消費したる石炭の取得方法別、買受先別、種類別及び用途別數量

四、種類別貯炭數量

前項の許可申請書はやむを得ざる事由ある場合を除くの外上期又は下期の各期間開始前六十日迄に之を提出すべし

第十一條　第九條の許可を受けたる者（以下大口消費者と稱す）は當該石炭の消費の場所を變更し又は當該石炭を他人に讓渡することを得ず、但し特別の事由に因り朝鮮總督の許可を受けたる場合は此の限にあらず

第十二條　朝鮮總督石炭の需給統制上必要ありと認むるときは物資統制令第三條、第九條乃至第十一條又は第十五條の規定に基き石炭の生産業者、輸入業者、移入業者、販賣業者若くは此等の者の團體、石炭の保管を業とする者又は石炭の消費者に對し石炭の讓渡、讓受、寄託、保管、移動、保有又は消費に關し必要なる事項を命じ又は制限若くは禁止を爲すことを得

第十三條　物資統制令第十八條第一項の規定に依る損失補償の請求を爲さんとする者は處分事項の實施終了後之を請求すべし、但し朝鮮總督の承認を受けたるときは別段の時期に之を請求することを得

第十四條　石炭の販賣業者は營業所に帳簿を備へ左に掲ぐる事項を記載すべし

一、買受けたる石炭の種類別數量及價格、約定及受入の年月日並に買受先の氏名又は名稱

二、賣渡したる石炭の種類別及用途別數量及價格、約定及引渡の年月日、引渡場所並に賣渡先の氏名又は名稱

三、毎月末に於ける種類別及場所別貯炭數量

石炭を三噸以下賣渡したる場合に於ては前項第二號の賣渡先の氏名又は名稱は之を記載することを要せず

第十五條　大口消費者は帳簿を備へ左に掲ぐる事項を記載すべし

一、取得したる石炭の種類別數量及價格、受入の年月日並に買受先の氏名又は名稱及住所

二、消費したる石炭の種類別及用途別數量及消費の年月日

三、毎月末に於ける種類別貯炭數量

第十六條　朝鮮總督又は道知事必要ありと認むるときは石炭の消費者又は石炭の生産業者、輸入業者、移入業者、販賣業者若くは此等の者の團體より必要なる報告を徵し又は當該官吏として工場、事業場、事務所、貯藏場其の他の場所に臨檢し業務の狀況若くは石炭、書類、帳簿其の他の物件を檢査せしむることを得、物資統制令第二十條第二項の規定に依る證票は別記樣式に依る

第十七條　朝鮮石炭株式會社は毎月十日迄に前月中に賣渡したる石炭の賣渡先別及種類別數量を朝鮮總督及關係道知事に報告すべし

第十八條　朝鮮石炭株式會社より販賣の目的を以て石炭を買受けたる者は朝鮮石炭株式會社より買受けたる石炭に付毎月十日迄に前月中に賣渡したる石炭の賣渡元先及種類別數量及價格並に前月末に於ける種類別貯炭數量を朝鮮總督及關係道知事に報告すべし、配給團體は毎月十日迄に其の團體員たる石炭の販賣業者が前月中に賣渡したる石炭の賣渡先別及種類別數量及價格並に前月末に於ける種類別貯炭數量を朝鮮總督及關係道知事に報告すべし

第十九條　大口消費者は毎月十日迄に前月中に買受けたる石炭の買受先別及種類別數量及價格、消費したる石炭の種類別及用途別數量並に前月末に於ける種類別貯炭數量及其の消費の場所を管轄する道知事に報告すべし

第二十條　前二條の規定に依り朝鮮總督に提出すべき報告書は正副二通とし朝鮮石炭株式會社を經て之を提出すべし

第二十一條　本令の規定に依り朝鮮總督に提出すべき書類は前條の規定に依るものを除くの外明治四十三年朝鮮總督府令第五號の規定に拘らず直接朝鮮總督府に差出すべし

附則　本令は發布の日より之を施行す、但し第十三條乃至第十六條の規定は昭和十八年十月一日より第十七條乃至第十九條の規定は同年十一月一日より之を施行す

朝鮮石炭配給統制規則は昭和十八年九月三十日限り（第十三條、第十四條及第十五條の規定に就ては同年十月十日限り）其の效力を失ふ、但し各規定の效力を失ふ日以前に爲したる行爲に關する罰則の適用に就ては其の後と雖も仍其の效力を有す

第一條乃至第十一條の規定は昭和十八年九月三十日迄に爲す石炭の讓渡及消費に關しては之を適用せず

昭和十八年下期の配給計畫の策定に拘らず昭和十八年九月二十日迄に認申請書は第一條第二項の規定に之を提出すべし

第十一條の規定の適用に就ては朝鮮石炭配給統制規則第六條の規定に依り爲したる許可は之を第九條の規定に依り爲したるものと看做す

昭和十八年下期に消費する石炭に付朝鮮石炭配給統制規則第七條の規定に依り提出したる許可申請書は之を第十條の規定に依り提出したるものと看做す

近代戰の兵器（完）
軍事

一、偵察機　飛行機が初め戰場に現れ軍用機として使用されたのは敵情を搜索することであつた即ち偵察機であるが現在では偵察機の任務も非常に廣くなり敵情や地形等の偵察の外に指揮の連絡、砲兵戰における目標の搜索や觀測、歩兵の突破路の開拓や友軍の危機を援護したりその使命は實に大きい、偵察機には更に近距離用のものと遠距離用のものとがある

二、爆擊機　戰爭の目的達成のために必要なあらゆる目標物に對して爆擊を敢行し之を徹底的に粉碎壞滅するのが任務である、爆擊機は爆擊目標の大小、航空範圍の遠近等によつて輕爆、中爆、重爆の三種に區別される

三、戰鬪機　制空、防空、並に偵察機や爆擊機の掩護に當るものでその第一の任務は敵機を擊墜するにある、從つて敵機を擊墜し得るだけの機動性―上昇力、速度、旋回力等―を具備すると共に武裝も優れてゐなければならない、搭乘員の數によつて單座、複座、多座等の別がある

四、攻擊機　敵軍の地上攻擊であるが最近では對戰車用として優れた火力を裝備してゐるものがある

五、輸送機　その名の如く兵員、器材、食料等を空中輸送するもので落下傘部隊もこの飛行機によつてなされる

この外特殊の構造を以て作られたものに飛行場の診得をなす練習機や負傷者や病人を運ぶ病院機等があるが、こゝでは我々が最も關心を持つべき戰鬪機と爆擊機に就て最近の傾向を覗いてみよう、先づ戰鬪機の現狀を覗いてみよう、先づ戰鬪機であるが前にも述べた如く敵機を擊墜するだけの機動性と共に又必要なる火力を裝備してゐなければならないが、之等の諸性能の總てを同時に最良に滿足させることは相互の矛盾性からなかなかむつかしい問題である、その何れに重點を置くかによつて各國各々異る戰鬪機を持つことになるのだが、大體に於て一の傾向に歸ひつゝある、速度を早めることと發動機の馬力を大きくすることの二つが要求されるが、抵抗を少くするために引込脚となり、又設計上に幾多の改良が加へられ尾翼までも取つてしまつたものさへある、なほ世界に於ける研究では我國は、世界に冠たるものがある

次に發動機も段々大きくなり現在では二千五百馬力から三千馬力となり、しかも大馬力でかつ輕いものを工夫する樣になつて來た、上昇力も亦爆擊機が高度を高めるにつれて一萬米から一萬二千米に達するものがある、米國のＰ―47や英國のスピットファイヤー九型などがそれである

×　×

次に武裝の點では敵機の防彈防火裝備の發達と相俟つて強化され大口徑のものになると米國のＰ―38やＰ―39などの如く三七粍砲を積んでゐるものもある

然しこんなに大口徑となると彈丸一發の効果は大きくても多數携行することは出來ず又發射速度も落ちるので米國の上記の戰鬪機も最近では二〇ミリに換へ三七ミリのものは對戰車用として使用してゐる樣である、大口徑のものでは英國のハリケーンⅡＤ型も四〇ミリ砲を備へて對戰車攻擊用として使つてゐる、一方英國のハリケーンⅡＤ型やタイフーンⅠＡ型など七、七ミリ銃を十二挺も裝備してをり口徑よりも數で「」といふ行方をとつてゐるものもある

次に爆擊機であるが敵地の上空に達するだけの飛行能力を先づ持つてゐなければならぬ、又爆彈も多く積まねばならぬといふので段々大型化して來てゐる、又敵戰鬪機或は地上火器による被害の減少を計るために高速度、高度飛行をなさんとするばかりでなくその武裝も裝甲も益々強化せられて來た、米國のＢ―17Ｆ型所謂『空の要塞』といふ奴で常用飛行高度八〇〇〇米、最大速度五〇〇キロ時、十三挺の銃を具有し要部の裝甲鈑の厚さは一六粍にも達すると云はれる又目下生産中と傳へられるＢ―29Ｂ―32等では最大速度六〇〇キロ時常用飛行高度一萬米、航續時間二十四時間と稱せられるコンソリデーテッドＢ―32は搭載彈量五噸と宣傳してゐるがまだ之は此方の戰場に現れてゐないし實際のところは分らない

全北、忠南は普通作
本年度秋蠶供出豫想低調

[illegible]

第二次着手
染色工業の整備

[illegible]

朝鮮運送會社
十海運社合併

[illegible]

企整委員會
十五日初の會合

[illegible]

釘なし箱の製造
石鹼輸送にひと苦心

[illegible] ……ストックの増加、配給の不圓滑を招來しつゝあるので油脂統制會朝鮮支部では、かねてこれが對策として代用木箱の考究、仁川の大成木材につき試作の結果、大體良好な成績を得たので輸送には折疊となるため輸送に利便であり且つ釘を使用する必要がないため物資節約に益するところ大である

勤勞率は上乘
木野課長歸任談

……く語つた

咸吾地、古乾原、遊仙その他を視て來たが増産目標突破は確實だ、特に有煙炭は昨年下半期が非常に低調であつたが最近は向上の一途を辿つてゐる、成績の良い鑛山は勞務者の能率を百パーセントに利用してゐる、或る鑛山では映勤してゐる從業員に對して全部漏れなく健康診斷を行つたところ、假病で休む者が一人もなくなつた實例がある、この方法の良否は兎も角として勞務管理といふことに努力してゐる鑛山は増産が可能であることは間違ないことであるから、勞務者の稼働率を良くすることが増産への近道だと思ふ、坑木その他の資材は道當局が斡旋して充分間に合つてゐるし、勤勞報國隊の奉仕作業もなかなか目覺しいものがあつたから兩道の目標突破は確實である

鴨水電總會
一分増配か

鴨綠江水電では來る廿七日午後三時から朝鮮鴨水電本社に定時株主總會を開催、當期諸決算案件及び利益金處分案を附議するが、配當は年六分と内定した、利益金處分案は左の通り（單位千圓）

總收入三、四六四▲總支出一、三六八▲うち防護償却金三五〇▲當期利益金二、〇一八▲前期繰越金三三一▲計二、三三七▲うち法定積立金一〇五、役員賞與金二三、配當金（年六分）一、〇七五（鮮滿兩社共通）

歸順續出
俘虜五五八　交戰二三一
中支軍八月中戰果

……敵は固きものがある、戰果次の通り

交戰回數二三一、交戰敵兵力一九、九六九、敵遺棄死體八三二、俘虜および歸順五五八

主なる鹵獲品　重機四、擲彈筒四、小銃一三二その他各種彈藥兵器資材多數

在支領事館を昇格

【北京十四日同盟】大東亞省では今回事務上の都合により十月一日附をもつて日本大使館下開封、徐州兩領事館を總領事館に、天津總領事館唐沽出張所、濟南總領事館張店出張所、同海州分館をそれぞれ領事館に昇格し十四日附をもつて芝罘領事館威海衞分館、青島總領事館坊子出張所、濟南領事館博山出張所を閉鎖することゝなり十四日この旨北京日本大使館より發令された

重慶主席に
蔣介石就任

【廣東十三日同盟】重慶放送によれば十三日に開かれた十一中全會第九次會議において出席執行委員八十八名の滿場一致可決により蔣介石は國民政府主席に推薦された、蔣の主席就任は前主席林森の死去後殆ど確定的に決定されてゐたもので、そのため國民政府組織法を改訂して主席の權限を擴大し重慶政權の元首たるのみならず陸海空軍の大元帥たらしめたものである、これにより蔣介石は重慶における政治と軍事の最高權限を獨占し對外的にも正式の重慶代表たるの資格を得たわけである

行政院長も兼任

【廣東十四日同盟】重慶放送によれば十三日の十一中全會第九次全體會議において國民政府主席に就任せる蔣介石は同日引續き開催された第十次の政府ならびに五院正副院長の選任會議において行政院長を兼任することに決定した

總督府辭令（十一日）

遞信書記　鶴田　正

任遞信事務官（七）　專賣局屬　山下　鶴助

任專賣局事務官（七）（各通）　專賣局雇技手　福島　道賢

任道理事官（七）命京畿道在勤　京畿府屬　東原　邦宗

任道理事官（七）命咸南道在勤　咸南道屬　片山　敏雄

任道技師（七）命慶南道在勤　慶南道技手　大山　德敏

同（十三日）

（慶北）本府技師　波田　正雄

（同）同　遞信事務官　竹田　寬爾

專賣局事務官　島田　正康

同　　山下　鶴助

稅務監督局事務官　福島　道賢

（慶北）道理事官　佐藤　俊夫

（咸南）同　　東原　邦宗

（慶南）道技師　片山　敏雄

（咸南）同　　大山　德敏

（同）同　　安原　成樹

（咸北）同　　永島田勇藏

（全南）同　　長田　芳雄

依願免本官（各通）　立花　正典

纖新會顧問に
波田總長就任

在城纖維界の中堅分子をもつて結成せる纖新會ではこのほど波田國民總力朝鮮聯盟事務局總長を新たに同會顧問に委囑追加した

經濟懇談會
小倉亞經會長來鮮を機會に

東亞經濟懇談會長小倉正恒氏は北京で開く第三回東亞經濟懇談會に出席しての歸途來る十月五日京城飛行場着で入城、一兩日滯在するよつて同會朝鮮委員會では同氏を中心とする懇談會を開き、決戰下における朝鮮經濟の進路について隔意なき意見を交換することになつた

亞經朝鮮委員會分科主査會

東亞經濟懇談會朝鮮委員會では、十四日午前十時より朝鮮ホテルに各分科會主査會を開き、穗積委員長、田村常任幹事……

……であるほか、何れも普通作以下と見られてゐる

しかし過般全鮮一帶を見舞つた降雨のため壯蠶期に於ける桑葉は幾分回復した模樣でもあり自家消費の徹底的規正と第一線指導員の挺身督勵により九十二萬貫の供出確保に滿幅の期待を掛けてゐる

勇士の家も増産へ
春蠶を凌ぐ丹精のあと
慶尚南道

【密陽にて孫田特派員發】決戰遂行の要戰下繭も亦兵器であり、戰に勝つための大切な物動物資として、これを確保すべく“蠶繭還元南”がたぎる護國の至誠を傾けて蠶繭増産に、供出に血の滲む敢鬪を續け堂々六萬貫を突破、この秋蠶繭の中軸として自他共に認める密陽郡上南面の“上南復興養蠶組合”の苦鬪史を面の中堅養蠶家松本國一さん（□）に訊く――

私が日露戰爭から歸還と共に戰友に勸められた養蠶を思ひ出して明治四十四年密陽郡上南面に卜居、農業（自作）の傍ら養蠶を營んだ當時は稚蠶の飼育方法が極めて拙かつたゝめ全部落の養蠶家は來る年も來る年も失敗し惱み拔いた揚句内地の蠶種も取り寄せて見たが一年として續いたものがなかつた、そこで東亞蠶種會社密陽出張所の鹽見源太郎さんに泣きついて一肌ぬいで貰つたのが大正十二年ぞして春蠶と秋蠶とをかけ合はせて『日支交雜種』といふ健蠶品種の發見となつた、引續き今度は稚蠶用の桑種をも發見、これでやつと愁眉を開いたが、養蠶でソロバンがあふやうになると今度は慾を出して片倉系統と東亞系統の養蠶家の間に劇しい軋轢を生じ同十四年の大洪水のとき蠶室も桑園も失つてしまつた

兩系統の養蠶家は全てを水に流して再建のため力強く手を握つたのが今日の“上南復興養蠶組合”である

大洪水に遭ひ一夕にして荒廢した上南面鑛林里養蠶部落復興の熱意ある六十名の養蠶家が七轉八起、幾多迂餘曲折の辛い試煉を經てこゝに“上南復興養蠶組合”を組織、蠶種と桑苗桑肥、養蠶用具の購入、繭の販賣等一切を共同計算で經營、蠶種改良と稚蠶用桑種發見、養蠶技術の向上から増産一筋への邁進ぬ敢鬪が見事報いられて、今や、この上南復興養蠶組合では慶南全道中養蠶總額の約一割の供出を見るに至り

一、蠶絲増産の重要性
二、蠶作安定對策
三、蠶繭供出目標達成

三項目の國策に沿ひ勝ち拔くための“決戰養蠶部落”體制を整へて南鮮にその名聲を高めてゐる

昨年の春頃

長男忠男さんを戰線に送つた松本國一さんは蠶が戰ふ日本の“命中彈”となり“礎”となることを痛感し、妻サツヨさんとせつせと働き、老父宇太郎さん（八〇）までが、矍鑠たる元氣を蠶繭増産に示して戰ふ一家の協力が實を結び上簇三日目だといふのに春蠶に比して特に玉も大きいといふ、秋蠶十八枚の白い繭が蠶室の中に蔟箔にも積ねられてゐる

きちんと整頓された蠶の蠶室にはつい三、四日前掃立てたばかりの晚秋十六枚の稚蠶飼育と一部遲れた蠶繭の上簇で猫の手も借りたいといふほどの忙しさ、機敏に立ち廻る人夫の中に蠶沙を豚舍に、牛舍に運ぶものの姿は格別目を惹いた、何故ならば決戰下農村再編成に養蠶を織込んで普通農事、家畜三つを併行すれば蠶沙は枯渇期の牛、豚飼料に、又それ故に牛、豚舍から生ずるものは堆肥となり或は蠶沙そのまゝが水田、畑作、桑園果樹園の立派な肥料に變じ養蠶を中心とする多角農が營まれるからだ

前記組合を中核となし全部落擧つてそれに從事してゐる、養蠶先進地密陽郡上南面の復興養蠶組合が全鮮に誇る所以はそこにある、三十有餘年の長きにわたり、密陽郡下の養蠶業を手塩にかけて育てあげ慶南の“佐倉宗五郎”と謳はれる鹽見源太郎さんの體驗談も亦斗蠶養蠶業に挑はる人達に多くの益するものがあらう

大正元年農商務省に蠶業試驗場が開設され私はそこで五年間蠶の品種“一代交雜種”の研究を戶山博士と一緒にやつた、メンデル法則による蠶の遺傳學を世に發表した戶山博士である、併し當時全國の養蠶家は勿論、指導者も同博士の學說を理解できず徒に優良種ばかり要求して悉くが失敗した

その頃朝鮮

の養蠶家も指導者も矢張り同じ隘路にあつたため延いてはこれが朝鮮の蠶絲の立ち遲れといふ結果を招いた、要は優良品種よりもその地に適した適種を求め、あとは稚蠶飼育の技術を研究して健蠶を作ることである、專門的見地から完全と云はないへないが全組合員がそれに向つて努力してゐるのが上南養蠶組合である【寫眞＝松本宇太郎さん宅の繭とり】

“鯨一頭は牛四十六頭分”
蔚山沖は立派な捕鯨場

帝國水産部長兒部氏談

【釜山電話】帝國水産朝鮮支社長兒部謙輔氏は〇〇會議に出席のため東上中、十四日朝釜山着一泊後十五日歸城するが、鐵道ホテルに少憩中次の如く語つた

會議の内容はいま發表出來ぬ、捕鯨關係はこの八月から明年二月まで蔚山沖に鯨の餌とするプランクトンが發生するのでこれを追つて來る鯨が多く、しかも朝鮮近海に棲息するもので本年も豐漁ではないが相當の鯨は得られるだらう、大黑山沖、長箭沖もあるがなんといつても蔚山沖が最大の捕鯨場である、鯨が戰力に貢獻することは今更いふまでもない、鯨油は第一に食用、石鹼、グリセリン、潤滑油、ペイント資材等であるが直接には肉の食用としての價値も大きい、鯨と牛を比較するに鯨一頭は牛四十六頭分ある、牛肉は一頭四十五貫平均として一人當り百匁で五百人分あるが、鯨一頭は二萬三千人分の食用肉が取れるわけでこの一例を以てしても鯨が如何に銃後の榮養補給に貢獻してゐるかが覗はれる

蓮頭坪ダム
豫定工事進む

朝鮮水力の虛川江發電所建設工事のうち、咸南黃水院及び蓮頭坪ダムのコンクリート打込工事は、昭和十四年間組の手によつて起工、以來幾多の困難な資材難と勞力難を克服して比較的順調に工事を進めつゝあるが、同工事の進捗狀況を視察のため現地へ出張中であつた間組取締役朝鮮支店次長還入鍋氏は、このほど歸城して左の如く語る

黃水院は八萬立方米、蓮頭坪は本年度廿四立方米のコンクリートを打込む豫定であるが、そのうち蓮頭坪ダムは豫定以上に工事が進捗し、既に八月末現在に於いて十九萬立方米の打込みを終り豫定より二萬立方米多く打ち込んでゐる、よつて明年度必要數量のセメントを確保し得れば明後年即ち昭和廿年中には八十五萬立方米全部の打込みを終り〇〇萬キロの送電が可能となるわけである

通信關係業
共販會社を設立

【東京電話】電氣機械統制會では來る十月より實施する計畫生産に關聯し、通信關係者を一丸として共販會社を設立すべく目下考究中である、右共販會社は資材の合理的調整をはかり生産計畫の遂行を圓滑ならしむるもので、設立後は同會社をして一括受註せしめ製者の設備能力に應じて適正割當を行はんとするもので資材配給の一元化を期するとゝもに受註の一括機關としての機能を發揮するものとしてその成果は注目されてゐる

證券市況（十四日後場）

朝鮮取引所

銘柄	當寄	中引	先引
朝鮮取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍山工新	—	[illegible]	[illegible]
遊仙	—	[illegible]	—
小林	—	[illegible]	—

大阪長期

銘柄	先引	銘柄	先引
鐘紡	—	鐘新	—
特殊	—	長期	—
不二越	[illegible]	東洋ベ	[illegible]
大製鐵	[illegible]	砂鐵	[illegible]
日蓄新	[illegible]	鐘實	[illegible]

東京長期

銘柄	先引	銘柄	先引
富士	—	同新	[illegible]
鐘紡	—	鐘新	[illegible]
日立	—	日立新	[illegible]
日本工	[illegible]	不二越	[illegible]
日鑛	[illegible]	同新	[illegible]
郵船新	[illegible]	商船	[illegible]
新	[illegible]	三菱重	[illegible]
池貝鐵	[illegible]	北支	[illegible]
兵器	[illegible]	三菱鑛	[illegible]
東製鐵	[illegible]	中支	[illegible]
石原	[illegible]	鋼管新	[illegible]
高周波	[illegible]	船舶炭	[illegible]
船坊新	[illegible]	池貝自	[illegible]

銘柄	先引	銘柄	先引
日電	[illegible]	秋山木	[illegible]
北炭新	[illegible]	王子紙	[illegible]
東洋ベ	[illegible]	砂鐵	[illegible]
鐘工	[illegible]	古川電	[illegible]
日曹達	[illegible]	洋曹達	[illegible]
清煙	[illegible]		

隨想錄

“責任を持つ”とか“責任を感じる”とか云ふ言葉がよく使はれる。而も責任感の強いのが日本人の最大な美徳とされるの也▲列車の衝突事故を起した横山機關士が、その責任を感ずると如く、死を以て上司に詫び、妻にも詫したところは、まことに日本男子らしい行爲であつたと云へる▲死に際し、眞給品である時計、帽子を揃へて殘した態度も立派である。過失は疲勞の結果か、緊張しすぎた爲か、いづれにしても、死んで罪を償はうとした心情は諒解出來る▲これについて思ひ出すのは先年の山陽線に於ける列車の追突顛覆事故である。あの時は、責任の限界に就ては當事者が論じあつたが、具體的にこれを引受ける者はなかつた▲年齡の輸送力強化にどれだけの役割を持つてゐるかに就て、横山機關士はよく認識してゐたのである。だから、列車事故は、單なる事故としてのみ考へられぬところに死を以て償ふより外は方法がなかつたのだ▲昔から“萬一の場合は死んでお詫する”と云ふのが日本人の責任に對する心構への表現であり、これが事に當り實行された。ところに士氣の振作があつた▲戰爭に勝ちつゞけるのも、銃後を立派に護り通すのも、この崇高なる責任觀念が人々の心に在る限りと云つていい、是と信ずるところは斷じて行ひ、いかん場合には死んでお詫びする▲これより強いものはない。この強さを端なくも横山機關士は示したのであるが、良人として將來の運命を負ふ感情であつたのにそれが出來なくなつたのを妻にも詫びてゐる點は、一層立派であつた▲その“事”は學ぶべからずとも、その感情と態度は、誰もが學んでいゝところである。

前線を鼓舞、増産へ
"軍援"に一億の赤誠
十月三日から全鮮に展開

一億國民一丸となり、大東亞戰爭に邁進する戰意を昂揚、相率ゐて戰力増强に努めんとする軍人援護强化運動は十月三日から八日まで六日間全國的に實施され、前線將兵をして後顧の憂なからしめ、益々軍人援護の强化をはかりもつて聖旨に應へ奉ることになつたが、半島でも内地に呼應して全鮮的に軍人援護强化運動を展開することゝなり、總督府内軍人援護會朝鮮本部ではこのほどその大綱を決めて發表した

先づ運動の主眼點を戰意の昂揚、戰力の増强、援護の强化に置いて國體の本義に基く軍人援護精神を昂揚して前線將兵の士氣を鼓舞、更に軍人援護の精神を生産増强、食糧増産にうちこんで必勝の體制を確立、全國民は不斷の赤誠を傷痍軍人、軍人の遺族、家族を激勵支援し、これに歸鄕軍人、傷痍軍人、軍人の遺族、家族もまた國民の赤誠に應へ、奉公の誠を傾けて一億一心、戰爭完遂に邁進するのだ

主眼事項 (一)戰意の昂揚 詔勅の聖旨を奉體して愈々三千年の傳統的精神を發揚し銃後國民の戰意を更に鞏固にすると共に我が國體の本義に基く軍人援護精神を昂揚し前線將兵の士氣を鼓舞することに努める (二)戰力の増强 軍人援護の精神を生産増强、食糧増産に打込み以て戰力の増强を圖り必勝の體制を確立し前線將兵をして後顧の憂なからしむる (三)援護の强化 全國民は不斷の赤誠を以て傷痍軍人、軍人の遺族を激勵支援し歸鄕軍人、傷痍軍人、軍人の遺族、家族も亦國民の赤誠に應へ奉公の誠を效し相携へて戰爭完遂に邁進する

實施要領 (一)戰局の決戰的情勢に鑑み主眼事項の(一)及び(二)に付ては特に工夫を巡らし地方の實情に即し戰意の昂揚、戰力の増强に總力を傾注する樣有效適切なる計畫を樹立する (二)軍人援護に關する皇室の御仁慈を普く全國民に知らしめ軍人援護の實踐の重要性を自覺せしむるやう方途を講ずる (三)本運動を單に銃後に於ける運動に止めず皇軍將兵に對し慰問激勵の方途を講じ銃後國民の赤誠を前線に通ぜしむるやう力を致す (四)官公署に在りては其の所屬長は勅語奉讀式と併せ訓話、講演等の實施を爲し所屬職員に對し本趣旨の徹底を圖ると共に具體的實踐項目を決定し率先垂範に努める (五)本運動を强力に展開する爲には各種團體の活動に俟つ所大なるものあるに付軍人援護團體は勿論其の他諸團體を動員し特に決戰下の軍人援護は神職、教家、婦人の活動に期待すべきもの大なるを以て之等の團體の積極的活動を促す (六)學徒並に青少年層に對しては決戰精神に徹底し戰力增强に協力せしむると共に純眞なる感激を表弔慰問、激勵等に披瀝せしむるやう方途を講ずる (七)本運動を國民各層の生活に滲潤徹底せしむるやう會社、工場、鑛山、愛國班等の組織を分活用し眞に擧國的運動たらしむるやう留意する

右要領に基き實施すべき主な事項 (一)軍人援護に賜りたる勅語の奉讀 官公署、學校、會社、工場等に在りては十月三日奉讀式を擧行する (二)戰歿軍人の英靈追悼、傷痍軍人の平癒並に出征軍人の武運長久祈願 十月三日の正午に於ける默禱を以て之に代るものとす、尚當日默禱實施に先立ち放送局より一般に注意を喚起す (三)一般に對する軍人援護精神の昂揚 (イ)ラジオ放送 十月三日全鮮中繼として政務總監放送(二十分間)を爲すこと 京城中央放送局に於ては本運動期間中戰意の昂揚、戰力の増强……

……展覽會並に軍人援護ポスター展覽會を開催すること、京城以外……(ヘ)壁新聞の配布 國民總力朝鮮聯盟に於ては軍人援護に關す……(四)其の他各道に於て恩賜財團軍人援護會道支部並に國民總力……(ハ)傷痍軍人並に遺族、家族の家庭に對する勤勞奉仕を爲す（以下略）

時局防空必携

満月に暫し馬上の感懐
おい戰友・南の決戰場でもきつと仰いでゐるぜ

"おい戰友、あいつは今ごろ何處で今夜の明月を見てゐるだらうかなア" "寒暑苛烈といはれるソロモンの第一線でも今夜はやつぱし名月だらうなア、いつもきつと今夜の月を見てゐるぜジャングルの葉陰で……"征馬の歩を停めて暫し、思はず見上げた名月―十五日夜は名月、アカシヤの葉、粧すべき夜露に濡れる秋の草など名月の清爽、更に一きは浮きたゝせてはゐるが月を見上げる武人の感懷は遥く祖國を離れた第一線に走る"おい、おいお月さんをぢーと見つめてゐるとだんだんチャーチルに似て來たわい、俺は勃然と敵愾心が起つて來た、お月さんまでが撃ちてし止まむ烈々の闘志をかき立てて下さつた、さあ、あと卅分で演習も終りだ、もう一暴れ暴れて來やうぜ"指揮が入つた、勇みたつた馬は秋草の詩情を思ひきり踏みにじつて一路米本土敵前上陸の凄じさをもつて驀らである

單なる"慈善"ではない
聖戰へ最後の一人も動員
一億總進軍と司法保護
佐藤總督府保護課長放送

罪を犯した社會の落伍者をして再び惡を重ねないやうに溫かい同胞愛を寄せて全國に展開された司法保護運動は、半島にも非常な成果をあげ十四日をもつて終了したが、總督府佐藤保護課長は"一億總進軍と司法保護"と題して十四日午後七時半から京城中央放送局で放送、司法保護事業に二千五百萬も協力して一億總蹶起、總進軍に一人の落伍者もなく戰力增强へ、米英擊滅へ邁進することを要望した

病氣と犯罪とは私共の社會から何とかして絶滅すべきものである

それ には先づ豫防の方法を講ずる事が上乘の策であり、根本的である、犯罪に就て犯罪が起らぬやうに豫防の方策を講ずる事が出來ればこれに越したことはない、犯罪の原因を色々調査すると一般の場合には犯罪がその人の生活態度から生れて來てゐることが多い、毎日清い正しい生活をしてゐる人には絶對に犯罪は寄り附かぬのである、そして生活態度が崩れて來た時に早く手當をして、この態度を改めさすことが出來るならば犯罪に陷らないですむ

或る 者が誤つて法律に觸れたとして、どういふ取扱ひを爲されたらよいか、煎じ詰めたところは再び過を繰返さないやうにすることが大切である

今日の行刑に於ては單に反動的な應報のみを以て事足れりとして居るのではない、行刑の中に教育といふ事を大きく取り上げ本人を忠良な臣民に立歸らしめるといふところに最後の目標を置いてゐるのである

それ とは反對にその甚だ多くが現實に再び過に陷つて行くのである

ところで此處で、何故斯樣に累犯者が多數出るのであらうかと云ふ事を考へて見たいと思ふ

果して行刑では犯人を眞人間に立歸らしめ得ないのであらうか、行刑の實績に徵すれば、受刑者が社會に出る時は殆ど大部分の者が眞人間に立歸らうといふ立派な決心をして出て來るのである、處が社會に出て見ると更生しようとする彼等の氣持を素直に受容れてくれる人ばかりではない、刑餘者にとつては眞の刑罰は彼が前科者と云ふ烙印を抱いて刑務所を出た時から始まると云はれてゐるのである、彼等は元來甚だ不完全な人間であつて彼等が犯罪者となつたのも多くは自己の力、ことに意志力の足らない爲であつたのであり其の上に改悛して刑務所から出て來たものゝ彼等は新に刑餘者といふ肩書を持つて出て來た爲に刑務所に入る前よりも、もつと不利な立場に置かれるのが常である、即ち彼等の弱い意志と不利な身分とが何時も原因となつて又元の刑務所に戻つて行くことになるのである

司法 保護事業はじめ斯る刑餘者に對する總ての事業として發足したが今日の行刑が完全なる應報でなく、受刑者の臉に一旦失はれ……

……のである

由來 我が國における凡ゆる制度は、その形に色々の差異はあつても、何れも大君の御稜威に源を發してゐるのであつて、この御稜威に仕へ奉る手段方法が色々の形で定められてゐるに外ならないのである、それ故に諸々の制度の運用の上において、國民一般が全力を擧げて協力せねばならぬといふことは、その根本において、御稜威に仕へ奉ることに歸着するからである

大東亞戰爭が苛烈な度を加へるに應じ、國民の最後の一人たりとも其の分に應じ、力に應じて最大の能力を發揮せしめる樣に動員せねばならないのである、司法保護事業が再犯の防止によつて、國家の治安を維持し、秩序を確保する丈でなく更に進んで國民總力の發揮に貢獻するところ極めて大なるものあることを思ふとき、國民各位の御協力により更に本事業の進展を圖り以て一億總進軍に一人の落伍者もない樣に努力したいと念ずるのである

半島に五ツ子
母子ともに元氣

【海州電話】世界產兒界の驚異五ツ兒が黃海道に出現した、黃海道海州邑桃源里二六八に居住する三菱鑛山從業員金山迎龍氏の妻永愛さんは十四日午前一時男の兒ばかり五人を分娩したが母子ともみんな元氣で邑民を驚かせてゐる

斷じて勝て航空決戰
―上―

敵の捕虜を訊問すると必ず『日本軍は强い、非常に勇敢である』と答へる、『それならばその强い日本軍と戰つて勝つ見込みがあるのか』と反問すると彼等は返答に迷ひ乍らも『イヤ勝てる』と答へる、『然らばどんな見透しの下に勝てるといひ切れるのか』と更に反問すると彼等は昂然としていふ『こちらはアメリカであり、相手は日本である、だから勝てるのだ』と、卽ち彼等は無條件に日本に勝つといふことを信じてゐるのである、この過信の底には『何を日本人が……彼等はたかゞ有色人種ではないか』といふ思ひ上つた自信(?)が存在してゐるのだ、更にこれに加へてその思ひ切つてゐた日本人に開戰劈頭から世界戰史に未だ曾て見られない程徹底的に叩きつけられ、反動的にこれに對し盲滅法な復讐心を昂揚させてゐるともいへよう、かうして敵米英は必死の反攻戰を展開してゐる、本年初めの議會においてルーズベルトは『昭和十八年は我同の年であると共に前進の年である、開戰以來日本の飛行機、船舶は益々少くなるに反して米國はいよいよ多くなるのみである』かくて將來は數量的基礎において決定される、我々は出擊に次ぐ出擊をもつてするであらう』と大見得を切つてをり、この尻馬に乘る英首相チャーチル、米海軍長官ノックス及びパターソン陸軍次官等は交々次のやうな大言壯語をやつてゐる『時機が來れば英國の一切を擧げて日本攻擊に參加するであらう』『米海軍の目的は島の一つ一つを攻擊して日本を攻擊するのが目的ではない、大攻擊に出て一氣に本土の心臟部を突くことである』『日本は曾て經驗したことのない重壓を受けるであらう』最初彼等はＡＢＣＤの對日包圍陣と經濟封鎖によつて手もなく日本を降し得ると樂觀してゐたが、日本の强力な反擊に逢つてこの夢が破られるや、斯く作ら日本の實質を見直して眞劍に對日戰を準備し大膽昨年半ば戰を轉期として現在太平洋を南、北に亘つて激烈な攻防戰が繰り展げられてゐるのである、而してこの激戰の中核をなし最も威力を發揮してゐるものに航空戰がある、卽ち航空決戰こそ現下日米戰の姿の最も簡單な縮圖といへるであらう、以下この航空戰について簡單に解説しつゝ、航空戰が如何に重大なものであるかを檢討して見よう

島！これなら沈まぬ
我荒鷲に米の作戰三度び變更

何故航空戰が海空を通じて日米決戰の最も激しく又端的な縮圖であるか、戰前敵米國は我本土進攻最高の戰術として戰艦、空母を中心とする集團戰法、いはゆる輪型陣戰法を誇示してゐたが、開戰劈頭我航空部隊が眞珠灣において一擧に戰艦四隻を海底に叩き込んだ結果、右の紙上戰術はまづ第一の蹉跌を來した、續いてこの『眞珠灣の悲劇』の二日後にはマレー沖で英戰艦レパルス、プリンス・オブ・ウエールスが同樣我航空隊によつて果敢な水葬式を擧げさせられた、從來航空機と戰艦の戰ひで果して航空機は戰艦を沈め得るや否やの問題は列國海軍當事者の論爭課題の一つであつた、かつて昭和十五年十一月タラント沖の海戰で英機により伊戰艦リツトリオ級二隻が擊破されたことがあつたが、當時これは單なる過渡の結果だとして簡單に考へられてゐた、しかし大東亞戰緒戰における我航空隊の偉大なる戰果はこの觀察に決定的な回答を與へたのである『戰艦は航空機の敵ではない』しかし彼米英がやつとこの點に氣づいた時はすでに米の太平洋、英の東洋兩艦隊はその威容を徒らに水底においてのみ誇る水底艦隊でしかなかつた かうして

輪型陣戰法 の空想は、こゝに遺憾なく叩き潰されたのであつた、航空機の威力をイヤといふ程知らされた米國はそこで戰法を航空母艦第一主義に變更し、空母を中心とする機動部隊を以て我に對抗せんとした、その一端が奇しくも昨年四月十八日の東京空襲となつて現はれたのであり、さらに珊瑚海、東太平洋、第二次ソロモン、南太平洋と一聯の海戰は之に續くものである、然しこれによつて米國の得た『戰果』は戰前の空母七隻のすべてが再び彼等の艦に入つては來ないといふ一事であつた、こゝに三轉、敵は大きな問題にブツかつた、卽ち『戰艦は勿論航空母艦も亦日本航空部隊に對しては全く無力である』といふ現實である、かくて敵は次のやうな

三つの問題 に對する解答に迫られたのである

一、空母がかくも弱いものとしたら再び戰艦中心主義に返るか、しかし航空機の威力は餘りにも痛く身にしみてゐる

二、戰艦の防禦力を空母に與へて空母戰艦ともいふべき艦種を作つてはどうか、しかし建艦技術の根本問題たる速力、攻擊力、防禦力三要素間の矛盾性はかゝる艦艦の建造を簡單に結果することはできない

三、然らば沈まざる空母は絶對にないのか、ある―航空基地を持つた島がこれである

こゝに解答がガダルカナル、ルッセル、レンドバ、ニュージョージャの一聯の島嶼作戰卽ち現在の南太平洋に展開してゐる基地航空決戰を生んだのである

× ×

なるほど島は空母のやうに機動はしない、しかし沈まないことは絶對確實、空母と比較にはならない、そこで一定の島を奪取してそこに航空基地を設け蠶山の航空機を常備すれば航空機の機動範圍内の海面だけは所謂制空權下にあるわけである、しかし島は空母のやうに欲する地點へ動いては行けないから、その制空權の範圍は限られたものである、そこで空母のやうに

廣い地域を 制空下に收めるには島々を連續させて次々に基地を築いて行かねばならない、かうすることによつて空母の機動性には及ばないが、その代り空母のやうに擊沈されて元も子もなくなるやうな危險性のない制空權が確保されることになる、そしてこの戰法を行ふに島の多い西南太平洋の海面は持つて來いの地形をなしてゐるのである、恐ろしい日本の航空機の威力から逃れるたゞ一つの道―敵々に負けつゞけた米軍は苦しまぎれにこの點に着眼したのである、一面敵ながら天晴といつてもよからう

× ×

さて島が絶對沈まないとすれば、この點に關する限り航空機の威力も歯が立たない、だとすればこゝで戰闘樣式は當然に航空機と航空機の戰ひにならざるを得ない、敵の基地を事實上役に立たなくし、もつて制空權を我方に收めるには航空戰に勝つことがまづ前提でなければならない、かくて航空決戰なる

新しい戰闘 樣式が西南太平洋なる特殊な地形を背景とし、彼我錯綜する航空基地を中軸として血潮噴き上げる慘烈な航空決戰それは追ひつめられた結果敵が苦しまぎれに案出した最後の戰法なのである、それだけ敵はこの戰法を最後の頼みの綱として必死であるとは當然であるが、一面わが方がこの戰ひに徹底的に勝つならば敵はもはや日本に對して戰ふべき如何なる方法も智慧も持ち合してはゐないのである、その意味において實にこの航空戰こそ大東亞戰勝敗の鍵といつても過言ではない、我々はこの航空決戰に絶對に勝たねばならない

マレー沖海戰 手前がプリンス・オブ・ウエールス(英艦)上はレパルス(轟沈)

京城日報 夕刊

麦増産へ適期播種
農林局長 秋播指導要綱示達

第二次食糧増産計畫については既に農林局案が成り目下中央と折衝中であるが、取敢へず目前に控へた稲の刈取期の直後播種すべき秋播麦に關し適期播種こそ作況を左右するものであるのに鑑み、十四日農林局長通牒を發して麦増産に關する指導要綱を示達した [illegible]

稲の適期刈取り

[illegible] 入した事例が澤山あるから今後播種を終つてから稲の調整をするやう指導することに重點を置いたわけである

二割の増收確實 麦適期播種の効果 堀山技師談

[illegible] 山技師は次の如く語る [illegible] 秋播き麦を出來るだけ早く播くと [illegible] 適期に播いた麦は收穫の時に二割は確實に増收することが出來る、[illegible] でも早く刈取り、脱穀調整をやる前に耕起整地をして播期すべきで [illegible] その弊害を痛く所謂不整地播種を行はせる等、麦の飛躍的増産を必 [illegible]

帝亜丸横濱出帆
第二次日米居留民交換 外務省當局談

[illegible] 帝亜丸は本邦および滿洲國の交換者を乗せ九月十四日一時横濱を出帆せるが、途中香港、北サンフエルナンド(フイリツピン)およびカツプ・サン・ジヤツク(佛領印度支那)に引揚者收容のうへ昭南を經へ十月十五日交換地ポルトガル領のマルマゴン港に到着の豫定、なほ米國側交換船グリツプスホルム號は北米よりの引揚者一千五百四十名を乘船せしめたるうへ九月三日ニユーヨークを出帆、リオデジヤネイロに向ひつつ [illegible]

わが武士道的措置 米乘客にも感謝の色

【横濱電話】第二次日米交換船帝亜丸は十四日午前一時日本及び滿洲に在住する引揚げ敵國人を乘せ [illegible] 横濱を出港した、引揚げて行く人々は敵交國チリーのアルマンド・カルバハル公使とその一家をはじめ米國人七十八名、カナダ人四十七名、その他英國人グアテマラ人若干名と賜暇歸朝のため特に乘船を許された中立國アルゼンチン神戸總領事デユアン・ベ・レモイネ、同横濱領事ブヂーナンド・エイ・ビタヘレン、同大使館海軍武官デル・ペトロなどのほかスペイン人若干名である

出帆の前日岸壁には朝來重要使命遂行の榮譽をになつた日本郵船帝亞丸(一七、五三六トン)は船體も麗しい巨體を横へて引揚人の乘船を待つてゐた、後方メイン・マストに高く掲げられた白字に赤二條の帝國旗が潮風に翻り船の兩側には交換船の印として白十字四つが鮮かに描かれ中央には大きく日の丸が燦然と光つてゐる

午前八時檢疫開始、引揚げて行く人々は當局の指示に從つて檢査をうけ午前十時過ぎ終了、いよいよ乘船がはじまつた

引揚民は次々 と自動車に乘せられて波止場に到着、人員點呼、荷物の檢査をうけたのち夕ラツプを上つて行く、兩手に重さうなトランクを下げたもの、手ブラで自動車でやつて來た、下女一人を伴つた夫婦二人など様々な風體だ、誰の顔にも深い憂愁と苦悶の色が漂つてゐた、大東亞戰爭開始以來既に一年九ケ月餘その間彼らの祖國は餘りにも慘めな敗戰の連續だつた、今沒落の故國に歸る彼らの心がいひ難い憂愁の氣持に閉されてゐるのは當然であらう、それでも彼が港内に出張した

日本人の係員 に微笑みかけるのは抑留生活中にも日本當局の取つた溫かい武士道的措置に對する深い感謝の表現であらうか 午後三時カルバハル・チリー公使 [illegible] がその他二人 [illegible] 寫眞班がカメラを向けるとにこにことポーズをつくる、午後四時アルゼンチン總領事の一團を最後に全員乘船を終了した

かくて十四日午前一時靜かに岸壁を離れ港の彼方に見る見るその巨體を没して行つた、目指す地は印度の西岸ポルトガル領の港マルマゴン、途中共榮圏各地に寄港して總計千五百名の引揚民を收容し十月中旬

マルマゴン に到着、ここで米側交換船グリツプスホルム號と落合ひテリー駐劄山形公使以下喜びの引揚邦人千五百名を乘せて再び日本に歸航するのである【寫眞=帝亞丸】

意氣込むファシスト黨復活
ム統師捲土重來の活躍に期待

【ベルリン十三日同盟】ムツソリーニ統帥の救出についてはドイツ外務省のシユミツト博士も十三日正午の記者團會見で『詳報は午後發表されるだらう』と述べる程度に止めたが、夕刻發表されたところによれば、統帥は七月廿五日以來轉々として、各地を盥廻しにされ一週間ばかり前にサルジニヤ島附近の小島から本土に移されたところをドイツ軍に救出されたといはれる、勿論バドリオ政權はムツソリーニ統帥については特に嚴重な監視を加へ統帥の監禁地點については絶對秘密にし、二日ないし三日毎に島々の兵營を轉々とさしたり、或はまた軍艦に移したり、あらゆる手段を講じた模様だ 警備の騎馬憲兵隊も物々しい位多數で、しかも一日置きに取換へあくまで機密の漏洩を防ぐ手段に出た

ドイツ軍が以上の嚴重な警戒陣にも拘はらずムツソリーニ統帥最後の居所を發見したのは僅か三、四日前のことで、居所發見と同時にヒ總統はオーストリア生れの親衛隊大尉に對し、萬難を排して統帥を救ひ出すやうとの指令を下したといはれる

救出に落下傘部隊

ムツソリーニ統帥は僅か一週間前にサルジニヤ島附近の小島からイタリヤ本土に移されたが、全く人里離れた山の中で、しかも監視隊は最近とくに増強されてゐた、そこへ十二日挑戰親衛隊大尉の率ゐるドイツ軍の精鋭SS・SDならびに落下傘部隊が大膽にも虎穴に飛込む奇襲を敢行周章なす所を知らない護衛隊を尻目に悠々ムツソリーニ統帥を救ひ出したのである

警備隊はこの突然の救出作業に全く手の下しやうもなくムツソリーニ統帥は擦り傷一つ負はずに救ひ出され直ちに飛行機でイタリヤ本土の某大都市に移された、安全な場所に移るとともに統帥は總統大本營に電話によつてはじめて通話したのである、人一倍感激性の強いムツソリーニ統帥が前後五十日にわたる監禁生活ののち盟友の配慮に對して如何に衷心から謝意を表明したか、ヒ總統が如何に友情をこめて統師の無事を祝福したかは想像に難くなく世界戰爭の舞台を背景に今回の歴史的意義を契機としてこゝにはしなくも『小説よりも奇しき』劇的場面が展開されたといへよう

ついでムツソリーニ統帥は同じく逮捕監禁の憂目を見てゐた家族たちと六週間ぶりで對面統師救出の報道がイタリヤ全國に傳はるや恰も電壓に打たれたやうにイタリヤ國内に『ファシスト復興』運動が持上り黒シヤツ隊が街上に現はれファシスト旗が各都市に掲げられる有様といはれる

一方ドイツ軍によつて救出されたファシスト領袖は統帥の下に國政を分擔し、前閣僚達はしきりにムツソリーニ統帥との接觸を圖りファシスト新政府再建の機運は一段と活潑化するに至つた、統帥は久しい監禁生活の間新聞も讀むことが出來ずラジオニユースを聽くことを許されなかつたので全然國際情勢乃至世界戰局の動きが判らなかつたが十三日早朝からまづ各方面の事情を聽取いよいよ新政府の再建に乘出した、まづファシスト黨内のもつとも有能且つ憂國の情熱に燃える領袖を簡拔して眞の非常時人材内閣を組織する と同時にイタリヤ軍の精鋭師團を網羅してファシスト軍を再編成する豫定と解される、統帥の再出馬によつてファシスト國民政府樹立の運動は『全く新しい政府と新ファシスト軍を率ひて再檢討を必要とする』とドイツ某博士が言明するところだが、統帥は總統大本營に赴きヒトラー總統と會見する豫定といはれるから新ムツソリーニ統帥が捲土重來の活躍を示すのは右會見の後とならう

危く銃殺の難 脱出のム統師

【ベルリン十三日同盟至急報】ムツソリーニ統帥の監視隊は統帥救ひ出しの企圖がある場合には直ちに統帥を銃殺する指令を受けてゐたが、放膽なドイツ軍の救出作業に監視隊は周章なすところを知らず、統帥は傷も負はずに救ひ出されたといはれる

【ベルリン十三日同盟至急報】ムツソリーニ統帥の救出と同時に統帥の家族も武裝親衛隊の特別奇襲部隊によつて救ひ出されたと傳へられる

【ベルリン十三日同盟】ムツソリーニ統帥はヒツトラー總統と會見のため總統大本營に向つたと傳へられる

【ベルリン十三日同盟】ムツソリーニ統帥の令息ビツトリオ・ムツソリーニ氏はドイツ國内に到着したと傳へられる

ヒ總統へ感謝 ム統師が喜びの電話

【ベルリン特電十三日發】監禁から解放されて自由の身となつたムツソリーニ統帥は直ちにヒトラー總統に對し電話を以て感謝の意を表明した、政變の直前に北伊ベロナ會談以來、五十餘日目にヒトラー總統と語つたム統帥の感慨は筆紙に表し難いものがあつたらう この歴史的通話の後でム統帥は同じくドイツ親衛隊の手で救出された家族と久方振りで再會することが出來た

ム統師の救出 英に一大衝撃

【リスボン十三日同盟】ドイツ軍落下傘部隊がム統帥を救出したとの報道は英國全土に異常な衝撃を與へ今まで得々としてイタリヤ傀儡政權抱き込みの經緯を發表してゐた外務省スポークスマンも、一切批判を差し控へ、ロンドン各紙は勿論BBC放送局も單に右の事實を報道するに止めてゐる實情だ、ロイター電報も左のごとく報じてゐる 若し事實とすれば開戰以來の最も果敢、最も劇的な行動とい [illegible]

各地のファシスト復活

【チユーリツヒ十三日同盟】ドイツ軍がムツソリーニ統帥を救出し、又ミラノ市を占據した結果イタリヤ國内の政情は再び變化をとげ十三日午前キヤソに達した旅行者の談によればゼノア市その他でファシストが續々復活してゐるコリエル・デラ・セラ紙、スタンパ紙、ガゼターテ・ルポポロ紙などの主筆で七月廿五日事件以後ファシスト黨側攻撃の急先鋒を承つてゐた連中などどこかへ姿を消してしまつたといはれる

フ黨員、示威運動

【チユーリツヒ十三日同盟】イタリヤ北部各都市においては續々ファッシスト黨が政權を回復、黒シヤツ隊員は戒嚴令下にも拘らず十一日以來街上で示威運動を決行してゐると傳へられる

ファシスト黨領袖救出

【ベルリン十三日同盟】ドイツ政府當局は十三日正午の記者團會見においてム統帥と同時に他のファシスト黨領袖をもドイツ軍が救ひ出した旨言明した、但し領袖の名前は發表されない

[illegible] はねばならない、救ひ出しはシチリヤ島ペレルモ附近の小さな街で決行され、爾後統帥は飛行機でイタリヤ本土に連れ戻されたと思ふ、統帥救ひ出しの擧は單に大膽不敵といふばかりでなく盟邦に忠實な同志に對しては同じく忠誠の報ひがあるを證し、バルカン諸國にも甚大な影響を與へよう

敵三機失ひ遁走す
荒鷲ウエワクに五十數機邀撃

【南太平洋〇〇基地十三日同盟】ニユーギニヤ島における彼我の航空戰は連日にわたり熾烈を極めてゐるが、十二日十一時過ぎわが航空部隊はラエ東方ブス河の敵上陸部隊集結地を急襲、敵戰闘機の攻撃を排除しつつ敵部隊の宿營地附近を猛爆して、これに大損害を與へた これに對し、十三日九時過ぎ敵は小癪にもわが方に反撃し來りP38、B75、B24計五十機をもつてウエワクのわが陣地に來襲したが、わが航空部隊は直ちに出動、ウエワク西方においてこれを邀撃、P38三機を撃墜したので、敵はわが果敢なる攻撃に恐れをなし、ウエワク來襲の目的を達せず、倉皇として遁走した、この戰闘においてわが方も未歸還二機の尊い犠牲を出した

廣東 香港 來襲敵機撃退

【廣東十三日同盟】最近在支米空軍はわが本土空襲を狙ふとともに支那各地においてわが方に對し盛んに蠢動を續けてゐるが、十二日十六時すぎ敵のP38十機がわが廣東ならびに香港地區に來襲したので、わが戰闘機隊は直ちに出動、これを邀撃したので、これがため敵は何らなすところなく遁走した

ビルマ 國家奉仕 中央協議會活動開始

【ラングーン十四日同盟】ビルマにおける國家奉仕運動は從來各種團體によりそれぞれ獨自の立場において行はれて來たが、今後同運動の飛躍的進展の必要あるにかんがみ政府は全國各種團體を統制する新組織『國家奉仕中央協議會』を設置した旨十三日午後發表した 新組織は厚生宣傳大臣バンドウラ・ウセイン氏統率の下に關係官廳ならびに民間各種團體を代表する十五委員によつて運營され參加團體をして國家目的に副ひ且つ統制ある強力なる運動を指導するものですでに各委員の人選も終了十四日より活動を開始した

日高大使 對伊嚴重抗議

【リスボン十三日同盟】イタリヤ傀儡政權が反樞軸軍に對し無條件降伏して以來、日高大使をはじめローマ在留邦人の消息は一切不明だが、ロイター電報はベルリン放送として日高大使がイタリヤ軍參謀長ラオタ將軍に對し、今回の裏切り行爲につき嚴重抗議したと報道してゐる

獨軍アドリヤ東岸掌握

【ベルリン十三日同盟】ドイツ軍當局の言明によれば、ドイツ軍はすでにアドリア海の東岸を完全に掌中に收め、ポーラ軍港も占據したといはれる、さらにドイツ軍はマントーヌからゼノアの線において到るところ海岸線を占據、またイタリヤ軍の頑強な抵抗を排除し九月一日夜サンベルナールの要塞を占據したと傳へられる

不逞分子を一掃 獨軍、ローマの治安確立

【ベルリン十三日同盟】ローマ來電=ローマを占領したドイツ軍當局は十三日夜ラジオを通じて次の布告を發表した

ドイツ軍は今やイタリヤ心臟部の防衛を掌握した、不逞分子は最初ドイツ軍部隊に抵抗しこれら不逞分子により使嗾された戰闘がローマ市内で若干發生したがローマの治安は今や確立した イタリヤ市民は、所持の武器を悉く當局に差出すべし、若しこの命令に違反し十五日以後武器を所持せるものは死刑に處せられるであらう、その他軍の取締規定に違反せるものに對しては容赦なく軍律が適用されるであらう

獨軍チラナ入城

【ベルリン十三日同盟】獨軍當局の言明によれば獨軍機甲部隊は十二日アルバニヤの首都チラナに入城したが、市民は沿道に堵列して出迎へ同市のイタリヤ軍司令官は麾下部隊に對し獨軍に無用の抵抗をしないやう命令したので獨軍への武器引渡も無事完了した

五十萬を武装解除

【ベルリン十三日同盟】ドイツ軍當局は十三日次の通り言明した イタリヤ傀儡政權所屬軍隊の武裝解除は大體において完了、武裝解除を受けたイタリヤ軍の總數は五十萬以上に達し、イタリヤ本國においては勿論フランス南部ならびにバルカン諸國においてもドイツ軍と協力して戰爭を繼續する決意を表明するイタリヤ軍の數は續々増加しこれに對しては特に治安維持の任務を託してゐる

救出隊に感状授與

【ベルリン十三日同盟】ヒツトラー總統は今回ムツソリーニ統帥救出に參加したS・D保安隊、〇〇武裝親衛隊ならびに落下傘部隊に對して殊勳を賞して特別感状を授與した

スイス軍國境地帯嚴戒

【チユーリツヒ十三日同盟】スイス軍當局は十二日の公報においてスイス南部國境サン・ミリツツ、サン・デタード、サルガンツなど各地區に動員令が下り、アルプス山中の各峠は悉くスイス軍の手に確保され嚴重な警戒下に置かれてゐる旨發表した

盛岡市長に二見直三氏

【盛岡電話】任期滿了に伴ふ盛岡市長後任候補者推薦會は十三日午後二時開會滿場一致をもつて元台灣總督府警務局長二見直三氏を推薦した

消息

◇淺野健一氏(不二興業常務)鐵原農場巡視の後十六日朝京城發
◇鈴木半平氏(鮮滿地質社長)新任挨拶のため十四日來社
◇齋藤力彦氏(同社工務部長)同上

決戰の空へ(1) 模型飛行機

『僕は隼號を造るよ』『僕のは新鋭爆撃機だぞ』少年たちの眞劍な瞳が青寫眞を追つて模型飛行機は正確に組立てられてゆく、航空知識は模型飛行機から……少年たちの知識慾、科學慾から始められたこの製作は、今や空の決戰場への輝く出發として意氣込みも火のやうに熱烈だ、支柱の一つ一つが翼の一枚一枚がやがて敵に當る日を想像しつゝ造られるのだ

【寫眞=國民學校兒童の模型飛行機製作】

水雷艇一、商船二を撃沈
獨空軍サレルノ灣に敵補給攻撃

【ベルリン十三日同盟】D・N・B空軍記者アルバート・ブライターグ少佐はドイツ空軍の活躍状況につき左の通り報道してゐる、ドイツ空軍はサレルノ灣の反樞軸艦隊および補給船に對し連續的攻撃を加へてゐるが十二日夜の攻撃においては輕巡二隻、水雷艇一隻および大型商船四隻に直撃彈を浴びせ 水雷艇一隻および英國商船二隻は命中彈のため直ちに沈沒した

獨軍、伊艦船を拿捕

【ベルリン十三日同盟】ドイツ軍筋の言明によれば、ギリシヤのピレアス港にあつたイタリヤ艦艇ならびに商船は九日ドイツ軍に拿捕され水雷艇乘組員はドイツ軍に接收された、因にアテネおよびピレアス兩軍港でドイツ海軍に投降したイタリヤ將兵は數千名に達するといはれる